

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス アクュロールVII</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.490</b>	△RG <b>0.046</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アクュロール7**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：アクュロール6**

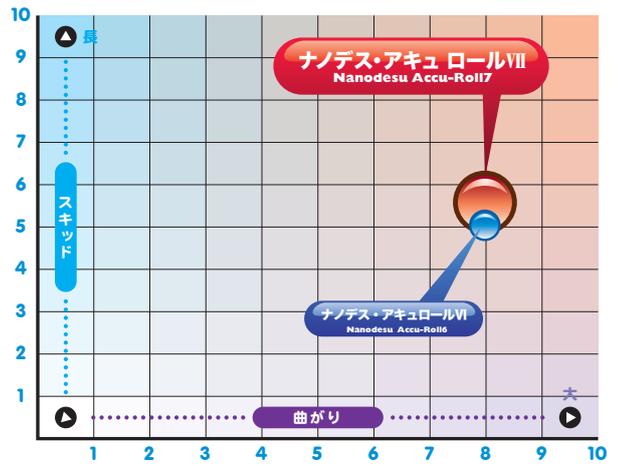
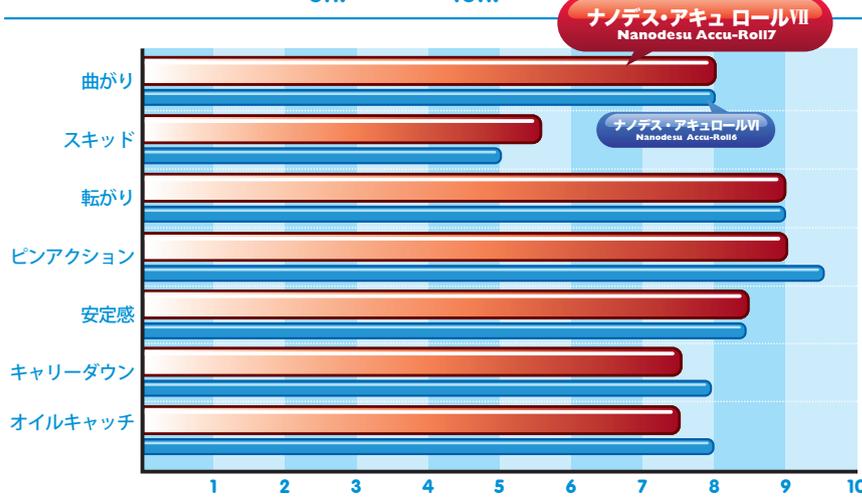
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

日本匠製法でウレタン素材を使わないCoverstockを採用してきたNANODESUシリーズ。その歴史はAVEXから始まり、NANOXY、NANOFLEXへと変革をしながらさまざまなパフォーマンスをこの世に送り出してきました。その中でNANOFLEXでは3色それぞれ異なる強弱の添加物を使いながら、さらにパフォーマンスの幅を広げる試みを行っています。今回のACCU-ROLL 7はレイアウトがシンプルでもしっかりとパフォーマンスが出せるFoxhole Symmetric Coreの比重変更をしたものを採用しています。このACCU-ROLL 7のRed Pearl/Orange Pearl/Goldの3色の配色ですが、Nanodesu SUPERIOR、Accu-Line Premium2017と同製法にしています。SUPERIORやPremium2017と異なるのは3つの配色の中で各々の素材の強さを変えてCoreとのマッチングをしています。

開発段階で意識をしたのが、Foxhole CoreのMid Laneでパワーを出しながらBackendで大きくネジれる特性のあるCoreをどのようにしてパフォーマンスとして表すかでした。Coverstockを強くし過ぎても中盤のキャッチは強くですがBackendは大人しくなり、走る傾向を強く求めるとオイルに左右されるほか、曲がり始めが遅くなり、曲り幅も小さくなります。そこで今回の3つの配色で3つに異なる添加物を使用することで、スキッドとキャッチをFoxhole Coreに焦点をあてた配合にしました。それはキャッチ感を出しながらスキッドさせ、Backendでエネルギー放出を最大限にする組み合わせであり、Pearl Coverstockでもやや走る性能領域を表面の仕上げを落とすことで調整しています。ブレーキがかかり過ぎると思われる方は箱出しからややポリッシュで、ブレーキのかかり具合が甘いと感じた場合は、#2000~#3000相当のアブラロンで調整して頂くのが良いでしょう。

### 特記事項

**3つのボールが織りなす、スキッドとキャッチのバランスが絶妙です。BackendでネジれるFoxhole Coreとの組み合わせで、角度のある入射角が得られます。**